

I 氏邸訪問記(2019.5.10)

1. はじめに

前回の訪問は [I 氏邸訪問記\(2018.10.4\)](#) で報告していますが、その後のシステム変更の確認ということで、O 氏、M 氏とともに訪問してきました。

2. I 氏邸のシステムの変更点

ラックの入れ替えとケーブル関係が総入れ替えになっています。また、CD プレイヤーは、[先日の訪問](#) で EK Japan の TU-876CD を持参して仮設置しています。



3. I 氏邸のシステムの試聴経過

O 氏、M 氏が到着する前に TU-876CD の再生を聴かせていただきましたが、出力段に真空管を使用している効果が出ており、I 氏には音の柔らかさを評価していただいていたとのことでした。また、令夫人が作成された CDR も再生可能であるとのことでした。

O 氏、M 氏到着後、I 氏と M 氏が約束していた各種チューニングの実施にとりかか

りました。その概要は次のとおりです。

- ・ JBL4343 のユニット取り付けおよびバッフル取り付けネジの増し締め
- ・ 電源タップのケーブルへの電磁波吸収シートの貼り付け
- ・ JBL4343 のバイワイアリングへの結線変更

上記のネジの増し締めは、増し締め前の音の確認をしなかったため、効果の判定はできませんでした。電磁波吸収シートの効果はノイズ感が減って細かい音が浮かび上がったような印象です。

もっとも効果の大きかったのは、バイワイアリングですが、自宅の FAL C90EXW でも効果を認めている通り、中高域の滲みがとれ、弦の細やかな音が聴きとりやすくなりました。

このような細かいチューニングは、メインの機器の交換などと違って、一つ一つの効果そのものは小さいものですが、積み重ねで自分の方向性に合わせていくことが重要です。

4. まとめ

TU-876CD が問題なく動作しており、各種チューニングの効果が確認されました。

以上